

# Manna&Babyこどもクリニック通信

目6-17  
TEL 092-866-8800  
http://mannaandbaby.  
or.jp/  
アイチケット順番とり  
http://paa.jp/t/188601

第14号

平成22年12月



街中にはクリスマスのイルミネーションが華やいています。子供たちの大好きなサンタクロースはきっと大忙しのことでしょう。今年一年Manna&Babyこどもクリニックに来院していただき、ありがとうございました。私共も子供達の笑顔に支えられて楽しくお仕事をさせていただきました。どうぞ健やかに新年を迎えられますようお祈り申し上げます。



## ノロウイルスについてのミニ知識



ノロウイルスが流行の兆しを見せています。症状は嘔吐と下痢が特徴です。多くなるのは12月でこれからが特に注意が必要となってきます。幼児が感染したときは、使い捨てのオムツを使用し、使用済みのオムツはビニール袋に入れて密封するようにしましょう。又、掃除機内のゴミから感染する危険性も高いことが分かりました。ゴミパックの処理も必ずビニール袋に入れてゴミ箱にいれましょう。使用後は手を洗うがいをして下さいね。

## 子どもの心のコーチング「聴く」について

「子どもの人生の主役は、子ども自身です。親の考えを押し付けず子どもが自分の生き方を見つけられるよう親はコーチとして、子どもをサポートしていきましょう」

10月11日菅原裕子氏の「子どもの心のコーチング」の講演会后、参加者の方々と「聴く」をテーマにし、グループセッションを行ってきました。

そこでの一コマですが、ある参加者の方が「私は、今まで、子どもの話を聴いていたつもりでしたが、今日参加して気づかされました。私は子どもが話し終わらないうちに、自分の考えを言っていました。」と話されました。私にも心当たりがあります。子どもに対してだけでなく、職場や友達同士でも同じような体験をしたことがあります。

誰しも、人の話を聴くことは難しいことです。実はほとんどの人ができていないと言われています。一人一人が独自の価値観やものの見方、考え方をもっているのです、相手の話を自分の都合のいいように置き換えてしまったりするのだそうです。

「子どもの話を理解したいと思う時、親のすることは「黙る」。これはイコール「聴く」ことにつながります。習慣で子どもが話すべき時をささぎって自分が話していることに気づくことが大切です。そしてその習慣をあらためて、意識して心の目で聴いてみましょう。

具体的ポイントとして！



- ①子どもに対する指示・命令・小言をやめる
- ②子どもに質問したら、答えが返ってくるまで待つ
- ③思わず何か言いたくなるようなことを子どもが言ったら、黙る

～著「子どもの心のコーチング」より

沈黙は私たちに考える時間を与えてくれます。そして子どもの本心を聴きとる余裕を手に入れてみましょう。

私も、話を聴く時、自分の知りたい事を優先したり、話の途中で自分が話してしまったりすることがあります。そこで私はできるだけ意識して、「黙る」を心がけてます。「黙った」後に、相手が話した話尾を繰り返す(言葉の反射)、話を聴くようにしています。小児科待合室で病状を伺う際、保護者の方は子どもの事が心配で、不安に感じていらっしゃると思います。そんな時、些細なことでも、お気持ちを先生に伝えていけるよう「聴く」を大切にしていきたいと思っています。

コーチングでの内容は子育てにだけでなく、多くの対人関係の中でも参考になるものだと思います。文庫本も出版されています。手にとってごらんになってみてくださいね。 M.U



聴きます

## 坐薬

熱につかれて眠っている  
私は仕事に出かける  
小さな紙切れにメモをする  
おひるまでにはきつとかえってきます  
かあさんがでんわしておくから  
あさごはんもできるだけがんばってたべてください  
それから、めがさめてまだねつがあるようだったら  
ここにおいであるさやくをいれて  
自分の子供の看病もできない私は  
つらそうな夫の目が私を見送った  
午後11時30分車に乗り込んで病院へ向かう  
枕元の坐薬  
どうか使わずにすみますようにと祈りながら

我が子の寝顔の横に坐薬ひとつ置いて  
せめて側にいてやれないことを詫言  
かあさんはしごとについてきます  
それまではまわっててください  
きょうのがっこうはやすみなさいね  
もういちどねむりなさいね  
悪い親だろうか  
「子育てはよろこび」山本万喜雄氏から

この詩の切なさ。共働きを続けてきた私には痛い程伝わってきます。でも決して悪い親ではないと思います。真心は伝わっていると思いませんか。

当クリニックでもスタッフの子供達の調子が優れない時、スタッフルームで待たせて皆で面倒みたりしています。みんな面倒見がいいので子供もクリニックの2階が大好きだったりします。でも時々家は家でお留守番のときもあります。きっと上記の詩のような場面もあることでしょう。

11/20日にクリニックの忘年会が行われました。当クリニックでは今年一年の目標達成度について各自スピーチしました。その中であるスタッフは「1日に1人は笑わせる」という目標を立てていたことに私は感動しました。そして、あるスタッフは「我が子の世話をしてクリニックに着くと思わず“フー”ともれる瞬間に活気あるスタッフの笑顔に迎えられて子育ての疲れなど吹っ飛んでいき仕事に打ち込める」というのです。

スタッフ同士支え合って患者様を迎えているピンク衣の天使達です。共に育てるよろこびを共有して成長出来たらと願っています。

K・H



## 新型インフル、イヌも感染

昨シーズンに流行した新型の豚インフルエンザにペットの犬も感染していたことが東京大学の堀木泰介准教授らの調査で分かりました。犬の感染はアメリカや中国で確認されていましたが、日本では初めてといえます。

去年4月～今年7月、動物病院を受診した366匹の血液を調べたところ、チワワなどの小型犬を中心に14匹が感染していました。家庭内で人から犬に感染したと見られ犬から人に感染する恐れは少ないといえます。